



# 宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和6年度 第9号

1月8日 児童数224名

人間市立宮寺小学校

人間市宮寺594-1 電話2934-2014



きれいな学校 ～一人ひとりの努力で～

宮寺小学校 校長 塩沢 栄一

あけましておめでとうございます。令和7年が始まりました。今年もよろしくお願ひいたします。  
 私は今年のお正月も「箱根駅伝」を一生懸命応援しました。青山学院大学の優勝に大きな拍手を送りましたが、今年印象に残ったのは、最後のシード権争い。8位をめざす4チームの争いです。1チームだけシード権から漏れてしまうという展開、後半1チームが抜け出し、それに続く2チーム。最後は7秒差で11位となり、シード権を逃してしまったランナーが涙をぬぐいながら「箱根でリベンジしたい」と語りました。目標を立て、それに向かって努力する。達成できればよいのですが、そうでない場合もあります。そこで、新たな目標を立て努力する。

2学期の終業式で、子供たちの学校評価をふりかえりました。「校長先生の大切なウルトラ7」の一つ一つを意識して学校生活が進められていますが、もうひとがんばりとみられるのが「無言清掃」「廊下右側歩行」「あいさつ・返事」でした。3学期にがんばろうと伝えました。もうひとがんばりへの挑戦です。それに加え、一人ひとり今年の目標を立て、がんばってほしいです。

昨年12月、2年続けて「人間市駅伝競走大会」に宮寺小学校教職員チームが出場しました。昨年は残念ながら基準のタイムに間に合わず、最終走者が白たすきでの繰り上げスタートとなってしまうました。そこで、昨年は一人ひとりがもうひとがんばりして、たすきをつなげてゴールしようとがんばりました。その結果、たすきがつながり、笑顔でゴールすることができました。先生たちも、もうひとがんばりの目標を持って挑戦したので、みんなもがんばろうと、子供たちに話していきます。



小笠原 父島での初日の出



チーム宮寺2024

## 校長の学び「今月の読書」



「そやな、ほんまありがとう」「私はなにもしてへんけど」「そんなことない。勉強とか毎日見てくれたし、まあうまないけどお菓子もいっぱいくれたやん」「うまないけどは余計やわ。でも、コウスケが大学行くのには、いろんな人の思いがかかっているからね」「うん、わかっとる」岡野の言葉はすごく素直に心に入ってきた。本当にそのとおり。ここでは、たくさんの方が応援してくれてる。それはたぶん戸村飯店の息子だからだ。

「戸村飯店 青春100連発」瀬尾 まいこ

中華料理店を営む家庭に育った兄弟。料理店に興味のない兄と店を継ぐ気満々の弟。ある日、父の一言が…。

☆12月1日人間市図書館主催の「ビブリアバトル」でこの本を紹介しました。